



平成30年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月13日

上場会社名 株式会社 大庄
 コード番号 9979 URL <http://www.daisyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 平 了寿
 (氏名) 水野 正嗣
 TEL 03-5764-2229
 配当支払開始予定日 平成30年5月21日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第2四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第2四半期	30,627	5.0	81	57.9	81	59.7	257	
29年8月期第2四半期	32,256	7.6	194	193.4	201	233.3	77	

(注) 包括利益 30年8月期第2四半期 243百万円 (%) 29年8月期第2四半期 53百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第2四半期	12.45	
29年8月期第2四半期	3.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年8月期第2四半期	41,713	22,073	52.5	1,058.00
29年8月期	39,250	22,486	56.8	1,078.03

(参考) 自己資本 30年8月期第2四半期 21,883百万円 29年8月期 22,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期		6.00		8.00	14.00
30年8月期		6.00			
30年8月期(予想)				8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,500	2.3	680	51.5	680	78.0	100		4.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年8月期2Q	21,198,962 株	29年8月期	21,198,962 株
期末自己株式数	30年8月期2Q	514,789 株	29年8月期	514,769 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年8月期2Q	20,684,188 株	29年8月期2Q	20,684,273 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策の効果为背景に、企業収益や雇用環境の改善が続く中で、個人消費も持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、外食業界におきましては、原材料価格の高騰に加えて、人手不足を背景にした人件費の上昇なども懸念される中で、台風や寒波など天候不順の影響も重なり、依然として厳しい環境が続きました。

このような状況下において、当社グループは、前期に引き続き「店舗リストラクチャリングの推進」並びに「店舗業態ポートフォリオの充実化」を最重要戦略と認識し、将来に向けた収益基盤の確立を図るとともに、MD（マーチャンダイジング）改革の推進、従業員向けモチベーションアップ策の拡充、グループ子会社の役割・機能強化など、様々な施策に取り組みました。

一方、店舗展開におきましては、新規出店を7店舗、店舗改装を26店舗、店舗閉鎖を15店舗で行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ5.0%減少の30,627百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高が対前年比97.3%と減少したことや、前期に実施した店舗閉鎖による売上減少が大きく影響し、売上高は前年同期に比べ7.5%減少の24,227百万円となりました。

卸売事業につきましては、フランチャイズ店舗への食材卸売が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ2.8%減少の2,075百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃借店舗物件の転貸が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ3.8%増加の561百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、前期に新しく導入した「ボランタリーチェーン（VC）制度」の推進に伴う事業の拡大により、売上高は前年同期に比べ15.7%増加の217百万円となりました。

運送事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ11.7%増加の3,269百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ5.7%増加の277百万円となりました。

一方、利益面につきましては、営業利益は81百万円（前年同期比57.9%減）、経常利益は81百万円（同59.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は257百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失77百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は16,927百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,394百万円増加となりました。これは、現金及び預金が1,528百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は24,767百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,050百万円増加となりました。これは、建設仮勘定が824百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は9,464百万円となり、前連結会計年度末に比べて875百万円増加となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が481百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は10,175百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,000百万円増加となりました。これは、長期借入金が1,523百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は22,073百万円となり、前連結会計年度末に比べて412百万円減少となりました。これは、配当金の支払いや親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が422百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,527百万円増加の13,200百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,152百万円の資金収入(前年同期は167百万円の資金支出)となりました。収入の主な内訳は減価償却費674百万円及び賞与引当金の増加額275百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,286百万円の資金支出(前年同期は1,575百万円の資金支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,131百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,661百万円の資金収入(前年同期は1,492百万円の資金収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,694百万円等に対し、長期借入れによる収入3,700百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,657	13,185
売掛金	1,938	1,797
有価証券	65	63
商品及び製品	499	556
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	153	153
繰延税金資産	367	412
その他	1,009	894
貸倒引当金	△158	△136
流動資産合計	15,532	16,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,355	6,732
機械装置及び運搬具(純額)	499	509
工具、器具及び備品(純額)	431	470
土地	4,150	4,150
リース資産(純額)	147	107
建設仮勘定	669	1,493
有形固定資産合計	12,254	13,464
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	2	1
その他	584	686
無形固定資産合計	1,500	1,601
投資その他の資産		
投資有価証券	295	310
出資金	4	4
長期貸付金	22	19
差入保証金	6,093	5,972
敷金	3,387	3,287
繰延税金資産	59	7
その他	230	205
貸倒引当金	△131	△104
投資その他の資産合計	9,962	9,701
固定資産合計	23,717	24,767
繰延資産		
社債発行費	—	18
繰延資産合計	—	18
資産合計	39,250	41,713

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,972	1,723
短期借入金	125	155
1年内返済予定の長期借入金	2,590	3,072
1年内償還予定の社債	30	90
リース債務	95	73
未払金	2,414	2,072
未払法人税等	300	285
未払消費税等	213	214
賞与引当金	390	665
株主優待引当金	115	117
店舗閉鎖損失引当金	1	6
資産除去債務	35	248
その他	304	737
流動負債合計	8,588	9,464
固定負債		
社債	—	810
長期借入金	3,801	5,325
リース債務	116	80
退職給付に係る負債	1,835	1,863
役員退職慰労引当金	305	230
受入保証金	644	633
資産除去債務	1,352	1,117
繰延税金負債	110	109
その他	7	4
固定負債合計	8,175	10,175
負債合計	16,763	19,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	4,216	3,793
自己株式	△602	△602
株主資本合計	22,148	21,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	164
土地再評価差額金	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	149	158
非支配株主持分	188	189
純資産合計	22,486	22,073
負債純資産合計	39,250	41,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
売上高	32,256	30,627
売上原価	12,341	12,159
売上総利益	19,915	18,468
販売費及び一般管理費	19,720	18,387
営業利益	194	81
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
貸倒引当金戻入額	1	18
その他	40	28
営業外収益合計	45	49
営業外費用		
支払利息	17	18
貸倒引当金繰入額	1	1
その他	19	30
営業外費用合計	38	50
経常利益	201	81
特別利益		
固定資産売却益	5	0
受取補償金	—	78
特別利益合計	5	78
特別損失		
固定資産除却損	87	158
店舗関係整理損	31	31
減損損失	40	51
事業支援損	—	39
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3	6
特別損失合計	162	288
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	44	△128
法人税、住民税及び事業税	146	120
法人税等調整額	△31	3
法人税等合計	114	124
四半期純損失(△)	△69	△252
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	5
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△77	△257

(四半期連結包括利益計算書)
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 9 月 1 日 至 平成29年 2 月 28 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 9 月 1 日 至 平成30年 2 月 28 日)
四半期純損失 (△)	△69	△252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	8
その他の包括利益合計	16	8
四半期包括利益	△53	△243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△60	△248
非支配株主に係る四半期包括利益	7	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	44	△128
減価償却費	701	674
減損損失	40	51
賞与引当金の増減額(△は減少)	288	275
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△575	△75
受取利息及び受取配当金	△3	△2
支払利息	17	18
固定資産除却損	87	158
固定資産売却損益(△は益)	△5	△0
売上債権の増減額(△は増加)	156	140
たな卸資産の増減額(△は増加)	1	△56
仕入債務の増減額(△は減少)	△372	△248
未払消費税等の増減額(△は減少)	8	1
その他	245	490
小計	636	1,297
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△17	△18
法人税等の支払額	△789	△147
法人税等の還付額	0	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	△167	1,152
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,370	△2,131
有形固定資産の売却による収入	32	13
貸付けによる支出	△2	△1
敷金及び保証金の差入による支出	△181	△7
敷金及び保証金の回収による収入	238	170
その他	△292	△331
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,575	△2,286
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	30
長期借入れによる収入	3,000	3,700
長期借入金の返済による支出	△1,155	△1,694
社債の発行による収入	—	880
社債の償還による支出	△90	△30
配当金の支払額	△166	△164
非支配株主への配当金の支払額	△0	△1
リース債務の返済による支出	△95	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,492	2,661
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△247	1,527
現金及び現金同等物の期首残高	15,022	11,673
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,775	13,200

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチャ イズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	26,203	2,135	540	187	2,927	31,993	262	32,256	—	32,256
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	5,383	201	—	315	5,900	293	6,194	△6,194	—
計	26,203	7,518	741	187	3,243	37,894	556	38,450	△6,194	32,256
セグメント利益	856	217	153	131	96	1,456	62	1,518	△1,324	194

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,324百万円には、セグメント間の取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,324百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において32百万円であります。

各報告セグメントに配分していない全社資産において、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において8百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年9月1日至平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	24,227	2,075	561	217	3,269	30,350	277	30,627	—	30,627
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	5,106	186	—	324	5,617	246	5,864	△5,864	—
計	24,227	7,181	748	217	3,594	35,968	524	36,492	△5,864	30,627
セグメント利益	826	105	173	132	47	1,286	50	1,337	△1,255	81

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,255百万円には、セグメント間の取引消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,242百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において46百万円であります。

「フランチャイズ事業」セグメントにおいて、フランチャイズ店への賃貸資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において5百万円であります。

「その他」セグメントにおいて、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において0百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「運送事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

当社100%子会社の米川水産株式会社等は、勝どき東地区市街地再開発組合との間で固定資産の譲渡に係る補償契約等を以下のとおり締結いたしました。

(1) 譲渡先	勝どき東地区市街地再開発組合
(2) 譲渡資産の内容	土地及び建物
	土地面積 641.42㎡
	建物延床面積 1,667.94㎡
	所在 東京都中央区勝どき四丁目505番1
(3) 権利変換日	平成30年3月7日
(4) 補償金	譲渡資産に係る補償金 1,244百万円
	<u>その他の補償金 77百万円</u>
	合 計 1,322百万円
(5) 帳簿価額	398百万円

以上